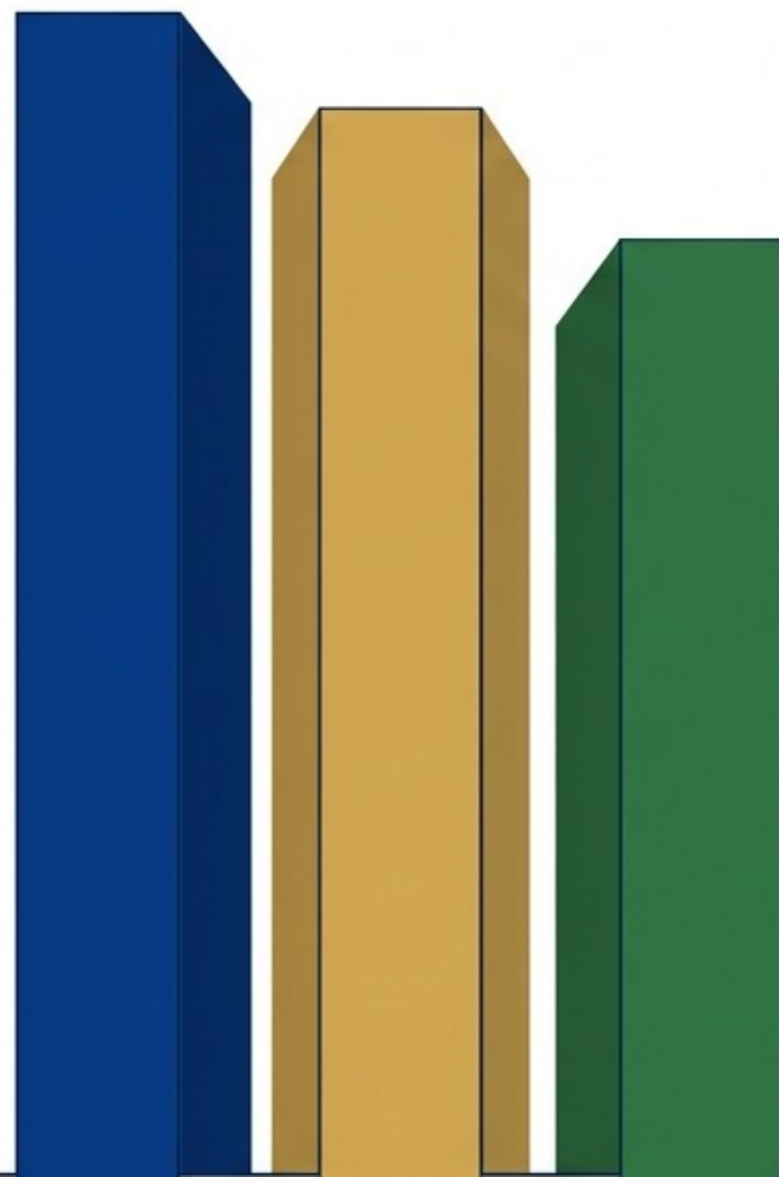
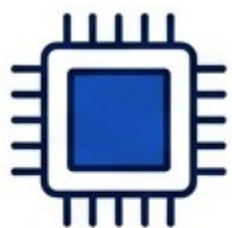


JACK注目銘柄：独自のカタリストを持つ厳選3銘柄

テクノロジー、グローバルIP、そして資産バリュー。現在の市場環境において明確な「買いの根拠」を持つ3つの戦略的投資機会。





デクセリアルズ (4980)

高成長テクノロジー



サンリオ (8136)

高収益リバウンド



近鉄グループHD (9041)

資産バリューの顕在化

Core Strength: 世界トップシェアの電子材料

Catalyst: 国策 (17の成長戦略分野) との完全な一致と利益率の急拡大

Core Strength: 営業利益率 40% 超のグローバルIPライセンス

Catalyst: 特調委設置による過剰反応 (52.8%安) と5兆円構想への乖離

Core Strength: 多角経営による強固な事業基盤 (宝の山)

Catalyst: アクティビスト (村上ファンド関連) の介入による資本効率改善圧力

デクセリアルズ：世界No.1シェアを誇るニッチトップの技術力

異方性導電膜（ACF）

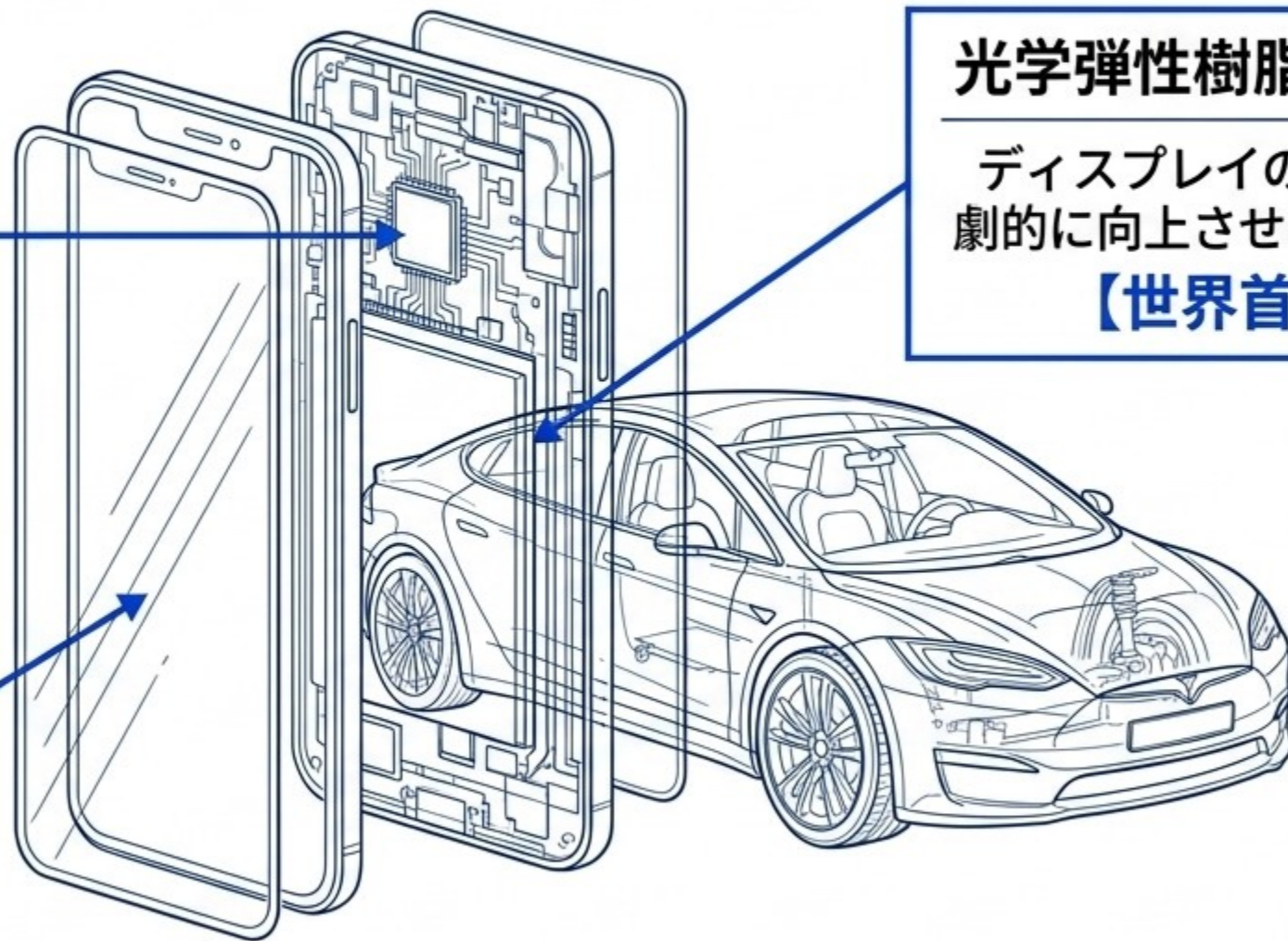
ディスプレイと基板を
接続する極小フィルム
【世界トップシェア】

反射防止フィルム

ディスプレイの映り込みを
極限まで抑制
【高い市場競争力】

光学弾性樹脂（SVR）

ディスプレイの視認性を
劇的に向上させる液体樹脂
【世界首位】



スマートフォン、自動車、データセンターの進化に不可欠な「技術主導型メーカー」としての絶対的地位。

利益率の急拡大と「国策」という強力な追い風

決算モメンタム

3Q累計売上高：
過去最高を更新
(連続更新 / 0%微増)

3Q (10-12月) 売上営業利益率：
34.6% ▶ **35.4%** へ上昇

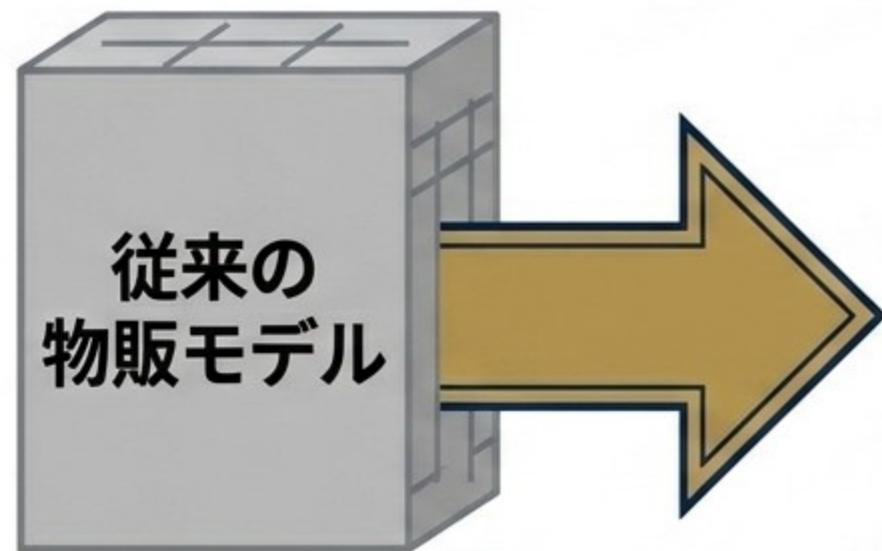
4Q (1-3月) 連結最終利益予測：
前年同期比 **8.0%増**
(47.3億円)

高市内閣「17の成長戦略分野」との合致

- ✓ フォトニクス (光技術)
- ✓ 次世代通信
- ✓ 半導体
- ✓ 自動車 (CASE/ADAS)

国策の重点投資領域において、不可欠な中核素材を提供するポジションを確立。

サンリオ：高収益ライセンスモデルへの完全転換



グローバル展開

ハローキティ、シナモロール等の世界的IPを海外130カ国以上で展開。

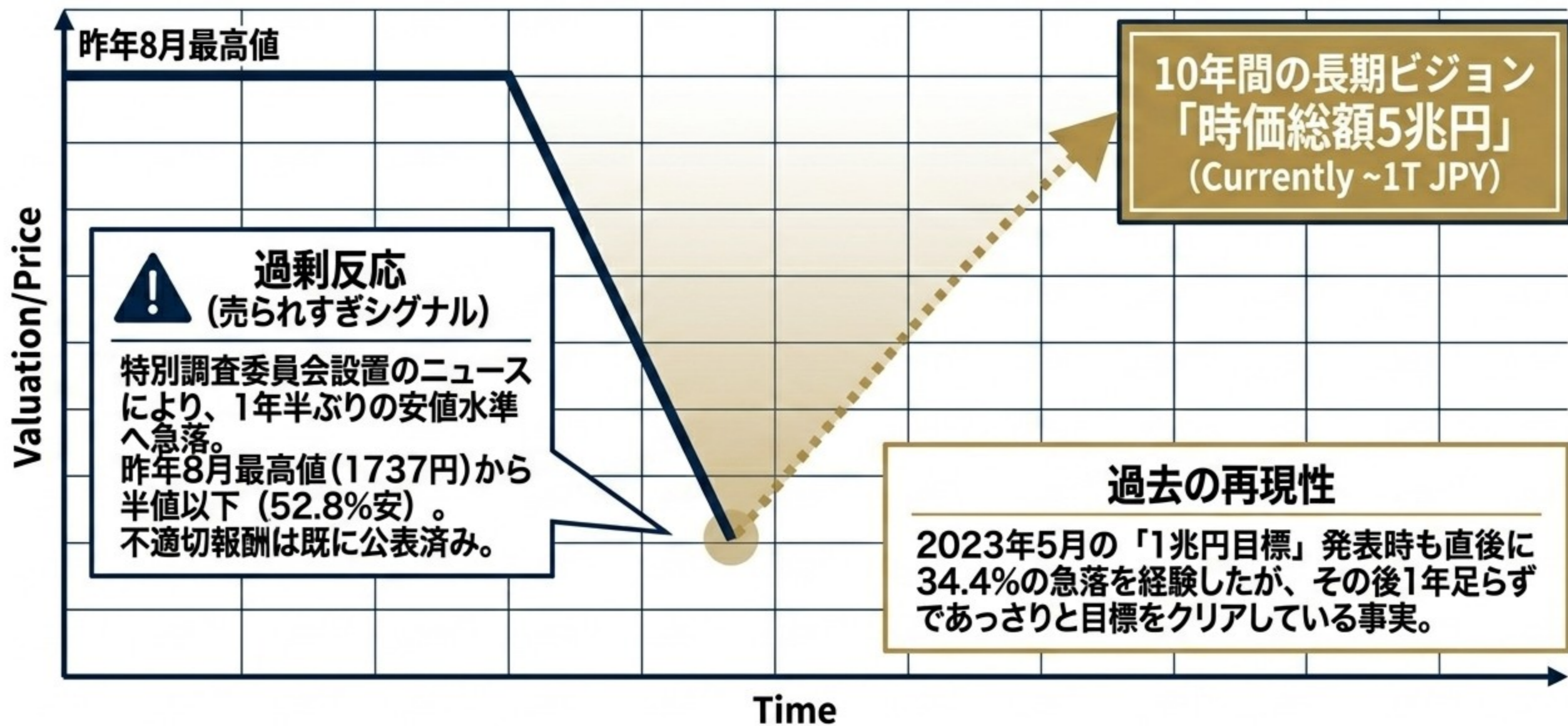
高収益モデル

物販からライセンス事業中心への構造転換が完了。極めて高い資本効率を実現。

柔軟な展開力

多様な業種と提携できる圧倒的なデザイン開発力。

一過性の悪材料による「過剰反応」と、5兆円構想への巨大なアップサイド



近鉄グループHD：多角経営が築き上げた巨大な「宝の山」



基盤：約260社のグループ会社による強固な事業基盤（コングロマリット）。沿線住民の生活インフラとインバウンド観光需要を独占的に取り込む構造。

アクティビストの標的：資本効率改善の圧力と45%のディスカウント

カタリスト - 村上ファンドの介入



報道：雑誌「選沢」にて『村上世彰氏らのターゲットになったようだ』と報道。

野村絢氏（村上氏長女）：「不動産をきちんと回転させて収益力を高めるよう促したい」

インサイト：豊富な不動産資産がアクティビストの目に「宝の山」として映っており、電鉄株特有の非効率な資産運用に対する強力なメスが入る公算。

ファンダメンタルズ vs 株価

2019年11月高値 (6430円)

6430円

依然として45%安水準

現在株価

3500円

業績の裏付け：

運輸・不動産の堅調な推移により、2026年3月期まで増収増益トレンド。3Q累計で前年同期比2.7%の経常増益を確保。

JACK銘柄比較マトリックス：各銘柄の投資プロファイルとカタリスト

	デクセリアルズ (4980)	サンリオ (8136)	近鉄グループHD (9041)
投資テーマ	グロース (技術・国策)	リバウンド (IP・高収益)	バリュー (資産・再編)
コアの強み	世界No.1のニッチ 電子材料シェア	利益率40%超の ライセンス事業	私鉄最長路線と 圧倒的な不動産資産
直近の業績	3Q売上過去最高、 利益率35.4%へ上昇	1兆円目標を前倒して 達成した実績	3Q経常増益(+2.7%)、 26年3月期も増収増益基調
発火点/ カタリスト	高市内閣「17の成長 戦略分野」への合致	悪材料出尽くしによる 過剰な売り (52.8%安) からの反発	村上ファンド介入によ る不動産・資本効率の の改善圧力

総括：市場の歪みが提供する、3つの明確なエントリーポイント

01. 構造的優位性が見落とし

デクセリアルズが持つ世界トップシェアと国策との合致は、利益率の急拡大（35.4%）という形で顕在化し始めている。

02. センチメントによる過剰なディスカウント

サンリオの特調委設置による52.8%の急落は、強固なIPライセンス収益と5兆円構想を考慮すれば、極めて魅力的な押し目である。

03. 隠れた資産価値の顕在化

近鉄グループHDの「宝の山」は、アクティビストの介入という最も強力なカタリストによって、45%の株価ディスカウントを是正するフェーズに入った。